

平成30年度 全国学力・学習状況調査

【ひだかプラン】～解答に課題の見られた問題について～

中学校
国語編

国語A 8四2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

1 出題の趣旨

目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる。

本年度の小学校国語A[6]との関連を図った問題です。これまでの全国学力・学習状況調査の中学校の結果を見ると、慣用句の理解に一部課題があることから、児童生徒の実態をより丁寧に捉えて今後の学習指導の充実につなげるために共通の問題が出題されています。

設問四2は、※平成27年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A2一（正答率53.4%）において、文の中における主語を捉えることに課題が見られたことを踏まえて出題されました。

2 学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ
(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。

四 次の各問いに答えなさい。

1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

心を打たれる

1 遠慮する。
2 感動する。
3 一つのこと集中する。
4 あれこれと心配する。

2 「心」を打たれた」を文本に用いた一文を書きなさい。なお、「心」を打たれたの主語明らかにした上で、「誰何」のことのようなこと」に「心」を打たれたのか分かるように書くこと。



文の中における主語と述語、修飾と被修飾との関係などに注意させる学習指導が大切です。

◆平成27年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A2一（右の問題）等を基にして、学習指導のポイントを整理してみましょう。

文章の内容を理解するためには、それぞれの文の中の語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解することが求められます。

そこで、小学校の各学年において、発達の段階を踏まえて行ってきた指導を基に、中学校においても次のポイントを踏まえて指導することが大切です。

◆こんな工夫が考えられます◆

主語と述語は、文の骨格をなし、明確な文を書く上で最も基礎となるものであることから、主語と述語との照応関係が大切であるということについて、文や文章を理解したり表現したりするときに強く意識できるようにする。

修飾と被修飾との関係をはっきりさせるとともに、「だれが」、「いつ」、「どこで」、「なにを」、「どのように」、「なぜ」などという文の構成について、理解ができるようにする。

2 次の一と二の問いに答えなさい。

1 1と2の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きなさい。

1 ア 降っていた イ 雨が、 ウ 急に エ やんだ

2 ア ぼくの イ 妹の ウ 誕生日は、 エ 五月二日だ。

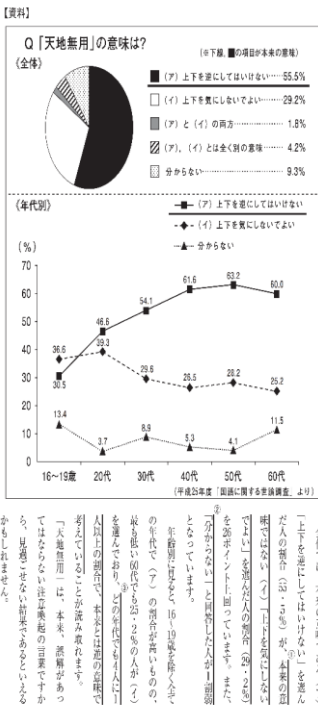
1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「宅配便で届いた段ボール箱は、天地無用だから、逆さまにしても大丈夫だ。」
 この言い方が気になるなあ、受け取った荷物は大丈夫でしょうか？
 「天地無用」という言葉の意味について「国語に関する世論調査」でゆたかさんが、約3割の人が「上下を気にしないでよい」という意味だと回答しました。

では、「天地無用」とは本来どのような意味か、調査で調べてみましょう。
 「広辞苑」第6版(平成20年)によると
 てんちむよう「天地無用」運送する荷物の外表などに於て、この荷物を取り扱うのに、上下を逆にはいけないという意。
 「日本国語大辞典 第2版」(平成11年)によると
 てんちむよう「天地無用」荷物の内外の逆さまに逆さまにして取り扱ってはいけないという意味の注意。

「天地無用」は「荷物の上下を逆にはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物の他に、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味がわからない人が少なからずいるのではないでしょうか。最近では、引物やイラストを用いて意図を伝えたり、「上」の両字の上に「た」といった指標を添えていたりして、より分かりやすく示そうとする例が多くなっています。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用」の前後という副文を添えて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。



この調査では、「天地無用」を「上下を逆にはいけない」という意味で受け取る人が多いのは、どのような理由があるのでしょうか。その調査として、「無用」の意味を調べてみました。

『新渡戸語林 第7版(昭和27年)』によると、
 無用(むよう)①役に立たないこと。②用事がないこと。③心配り。④してはならないこと。⑤出入り。⑥「天地」「上下」を逆にはならないこと。⑦用事がないこと。⑧用事がないこと。⑨用事がないこと。⑩用事がないこと。⑪用事がないこと。⑫用事がないこと。⑬用事がないこと。⑭用事がないこと。⑮用事がないこと。⑯用事がないこと。⑰用事がないこと。⑱用事がないこと。⑲用事がないこと。⑳用事がないこと。㉑用事がないこと。㉒用事がないこと。㉓用事がないこと。㉔用事がないこと。㉕用事がないこと。㉖用事がないこと。㉗用事がないこと。㉘用事がないこと。㉙用事がないこと。㉚用事がないこと。㉛用事がないこと。㉜用事がないこと。㉝用事がないこと。㉞用事がないこと。㉟用事がないこと。㊱用事がないこと。㊲用事がないこと。㊳用事がないこと。㊴用事がないこと。㊵用事がないこと。㊶用事がないこと。㊷用事がないこと。㊸用事がないこと。㊹用事がないこと。㊺用事がないこと。㊻用事がないこと。㊼用事がないこと。㊽用事がないこと。㊾用事がないこと。㊿用事がないこと。

「天地無用」という言葉は、いつも荷物を取り扱っている人や、意味を知っている人にとって当たり前のものかもしれませんが、初めて目にした場合には解釈が難しい表現です。「国語に関する世論調査」でも、反対の意味だと考えている人と意味が分らないという人を合わせると4割近いという結果でした。

とダブルを避けるため、今後は分かりやすく言い換えたり、表示を工夫したりするなどの配慮が必要かもしれません。

(文化庁国語課「文化庁国語調査」より)

設問三 この文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

1 出題の趣旨
 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

本問(国語B1)では、「天地無用」という言葉が本来と違った意味で解釈されることが多い実態とその理由について、調査の結果などを基に考察した文章を取り上げ、文章とグラフとを関連付けて読んだり、文章の構成や展開の工夫とその効果について考えたりすることに加え、目的に応じて文章の内容を適切に捉えて書くことを求めています。

2 学習指導要領における領域・内容
 [第2学年] B 書くこと
 ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。《記述》
 [第1学年] C 読むこと
 イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。《文章の解釈》

文章とグラフの関係を考えながら内容を捉えさせたり、文章の構成や展開について自分の考えをもたせたりする学習指導が大切です。

◆こんな工夫が考えられます◆

- 目的や意図に応じて本や文章などを読む際には、今までの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像、分析、比較、対照、推論などによって相互に関連付けて読むように指導する。
- 文章の内容や構造を理解したり、その文章の特徴を把握したり、書き手の意図を推論したりしながら、自分の考えをまとめたり深めたりするように指導する。
- 図表が使われている説明や記録の文章などを読む際は、図表が文章の中心的部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をよりの確に読み取るように指導する。

【関連問題】平成26年度全国学力・学習状況調査中学校第3学年国語B2 【説明的な文章を読む】
 ○複数の資料を比較して読み、要旨を捉える ○複数の資料から必要な情報を読み取る
 ○資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く